

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日本インバテ開京丹後配送センター	階数	地上1階、地下0階
建設地	京都府京丹後市大宮町森本小字大	構造	S造
用途地域	都市計画区域区分非設定 防火地	平均居住人員	49人
地域区分	5地域	年間使用時間	5,840時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年2月 竣工	評価の実施日	2019年10月10日
敷地面積	38,264 m ²	作成者	徳丸弘幸
建築面積	4,244 m ²	確認日	2019年10月15日
延床面積	4,238 m ²	確認者	堀 昌彦

外観パース等
図を貼り付けるときは、
シートを保護フィルムで覆ってください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 69%
③上記②以外の 69%
④上記+ 69%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境: N.A. 温熱環境: N.A. 光・視環境: N.A. 空気質環境: N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 0.0

機能性: N.A. 耐用性: N.A. 対応性: N.A.

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

生物環境: 2.0 まちなみ: 2.0 地域性: 2.0

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 5.0

建物外皮の: N.A. 自然エネ: N.A. 設備システ: 5.0 効率的: N.A.

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.3

水資源: 3.0 非再生材料の: 2.0 汚染物質: 2.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化: 4.2 地球環境: 2.4 周辺環境: 2.7

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>常温倉庫を計画するにあたり倉庫内の温度上昇や室内照度などを危惧し、屋根にはグラスウール断熱マット、外壁には石膏ボード裏張り、大型換気扇やLED照明を設けるなどしてできる限り物品保管、作業環境の低下にならないよう配慮した。</p>	
<p>Q1 室内環境 仕上げ材料は全てF★★★★とする。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) 敷地内の緑地となる部分等は定期的に草刈りをして景観に配慮する。</p>
<p>LR1 エネルギー 評価対象となるLED照明器具について配慮した。</p>	<p>LR3 敷地外環境 敷地外の路上に駐車しないよう適切な駐車スペースを設ける。周辺施設の維持保全に配慮する。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃業に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される